

●新刊図書紹介 (★・・・ピックアップ図書 3ページ目に詳細を記載しています)

図 書 名	著 者	出 版
議 会 ・ 地 方 自 治 関 係		
★ Q&A地方議会改革の最前線	江藤 俊昭 (編著)ほか	学陽書房
★ 教育委員会改革5つのポイント―「地方教育行政法」のどこが変わったのか	村上 祐介(編著)	学事出版
パ ソ コ ン 関 係		
500円で入門 iTunes	石橋 敏行(編)	インターナショナル・ラグジュアリー・メディア
iPadAir&iPadmini 便利すぎる! 240のテクニック	内山 利栄(編)	インターナショナル・ラグジュアリー・メディア
初めてでもよくわかる! Facebook Twitter LINE SNS超初心者向け!! これでセキュリティも完璧! (OAK MOOK)	株式会社 チアソル	オークラ出版
ソーシャルメディアを仕事に活かす本 フェイスブック、ツイッターをもっと使いこなす85のノウハウ	星野 有香	実務教育出版
そ の 他		
★ 昭和天皇実録 第一 自明治三十四年至大正二年	宮内庁	東京書籍
大人なら知っておきたいモノの言い方サクッとノート	櫻井 弘(監修)	永岡書店



わかやま国体を盛り上げる!!

和歌山の魅力たっぷりの「炬火トーチ」



紀の国わかやま国体の開催まで、残りあとわずかとなりました。今回のコラムでは、国体のセシモニーには欠かせない「炬火(きょか)トーチ」を御紹介します。炬火とはオリンピックの聖火に当たり、紀三井寺公園陸上競技場の炬火台に点火され、大会の期間中、選手たちを見守る存在となるものです。このとき点火されるのは、県内各地の30市町村でそれぞれ起こされた火を一つに集めたものです。

そして、炬火台への点火や、各地の炬火イベントで起こした火を採火するときに必要なのが「炬火トーチ」です。わかやま国体で使われる炬火トーチと、火を灯す炬火受皿は、「和歌山の魅力」をテーマに、一般募集から選ばれました。炬火トーチは、日本最古の火祭りとも言われる「熊野御燈祭(くまのおとうまつり)」の松明(たいまつ)を、炬火受皿は「那智の扇祭り」の大松明をモチーフにしています。また、素材に木を使うなど、和歌山を存分にアピールするデザインが採用されました。ちなみに黒潮国体の炬火台も「那智の扇祭り」の松明をモチーフにしていたそうです。



↑「熊野御燈祭」の松明と紀の国わかやま国体の炬火トーチ



↑「那智の扇祭り」の大松明と紀の国わかやま国体の炬火受皿



← 黒潮国体の炬火トーチ(右)と炬火台(左)

炬火トーチは、毎年各県の国体でユニークなデザインのものを作られており、個性豊かです。そのような点にも注目してみると、国体がもっと楽しくなるかもしれませんね。

